

令和5年度

# 自己点検・評価報告書

学校法人 MGL学園

高崎動物専門学校

自己点検・評価委員会

令和6年5月31日

## 1. 学校の現況

学校名 学校法人MGL学園 高崎動物専門学校

所在地 群馬県高崎市岩押町 5-4

設置学科 商業実務専門課程 ペットビジネス学科

愛玩動物看護師学科

文部科学省認定 職業実践専門課程・高等教育の修学新支援制度対象機関

厚生労働省認定 専門職業教育訓練

群馬県指定 愛玩動物看護師養成所（法第 31 条及び法附則第 2 条）

## 2. 学校の特徴

①群馬県内のペット業界の要望に応じて、群馬県初の動物専門学校として設立

②ペット業界の代表団体である全国ペット協会と連携して、ペット業界が求める人材を育成しようと努力していること

③MGL 学園附属動物高度医療センターを持ち、実践的な実習を行っていること

④学園附属のペットショップを持ち、実践的な実習を行っていること

⑤卒業生のペット業界へ就職する割合が高いこと。卒業生でこの分野の有名人を輩出していること

⑥世界のトッププロが毎年来学し講演等をおこなうので、世界のトップの技術及び人間性に学生が直に触れることができること

⑦獣医師の専門医団体「LIVES」との連携により、質の高い動物看護師教育を行っていること

## 3. 学校の教育理念・目標

### 基本精神

「共存共栄」

### Mission (使命)

「業界に必要とされる人材を輩出し、動物業界の発展・繁栄に寄与する」

### 行動指針

「M」 マナー…礼儀正しさ

「G」 グリット…やり抜く力

「L」 リーダーシップ…思いやり・模範を示す

### 教育目標

「利他の人」…人の役に立つ人材に

「積極的な人」…自ら考え行動できる人に

「夢を持つ人」…専門性を生かし活躍できる人に

## 4. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1. 個人情報保護に対する取り組みの強化
2. 情報セキュリティ管理の徹底
3. 特色ある授業の積極的な展開
4. 教職員採用・育成(FD/SD)計画
5. オープンキャンパス等、学生募集強化策の実施
6. 衛生・安全管理の強化
7. ペット業界との連携による就職支援の強化
8. 教員を派遣した学生インターンシップ研修における動物病院との連携深化
9. Web ポータルを導入した学籍管理マネジメントシステムの構築
10. MGL 学園附属高度動物医療センターの有効活用

5. 評価項目の達成及び取組状況（全教職員が4～1で評価し、その平均値を評価として記載した）

【評価の判定】 適切 4 ほぼ適切 3 やや不適切 2 不適切 1

[1]教育理念・目標

| 評価項目                                       | 評価  |
|--------------------------------------------|-----|
| ・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか                   | 4   |
| ・学校における職業教育の特色は何か                          | 4   |
| ・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか              | 4   |
| ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか | 4   |
| ・教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか  | 3.8 |

(優れた点)

- ・動物のプロフェッショナルとしてはもちろん、人として、社会人として成長することが教育理念の根幹にあり、それが教員と学生、保護者にも明確に示されている。
- ・学校の教育理念、教育目標が明確になっており、専門性の高い教育ができるように、教員同士積極的に考え行動している。
- ・理事長が ZPK（全国ペット協会）の常務理事を務めているため、ペット業界との連携が取れており、その時代に業界が何を求めているかを速やかに把握することができる。
- ・学校の教育理念、行動指針などが常に見えるところに掲示してあり、全教職員が共通の認識で学生に対し指導を行う事ができる。
- ・教育目標・実習指針・教育理念等、定められているだけでなく『学生生活の手引き』として学生・保証人に周知している。
- ・学生を教育していくための指針となるコンピテンシーや行動指針が教職員に対して掲示・共有されているためいつでも振り返りを行うことができる。
- ・高度化・多様化する獣医療環境に対応すべく、動物高度医療を身につけた愛玩動物看護師の育成を目指し教育環境を整えている。

(改善を要する点)

- ・教務課内でのコースの境なく協力が必要である。

[2]学校運営

| 評価項目                                      | 評価  |
|-------------------------------------------|-----|
| ・目的等に沿った運営方針が策定されているか                     | 4   |
| ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか                    | 4   |
| ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明文化されているか、有効に機能しているか | 3.8 |
| ・人事、給与に関する規定等は整備されているか                    | 3.8 |
| ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか           | 3.9 |
| ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか          | 4   |
| ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか                 | 4   |
| ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか                | 3.7 |

(優れた点)

- ・学生に1人一台タブレットを貸与し、授業のデジタル化を推進している。
- ・定期的に教員と職員合同のミーティングを開き、全体の方向性や目標、業務の共有を行なっている。
- ・組織図が教職員全体に共有されており、各課からの意見を吸い上げ運営側で精査されている。
- ・Web ポータルによる出席管理や情報共有システムにより、学生の状況を教職員全体で把握しやすい。

- ・ Google ドライブを使用した、業務のマニュアル化と共有が行われている。
- ・ オンラインツールを活用することで、姉妹校・連携実習施設での授業においても随時情報共有をしながら授業を行うことができる。
- ・ 出席管理・学籍管理・募集管理をデジタル化しており効率的に業務を行うことができる。
- ・ 就業規則・学内組織図は職員室に保管・掲示されており常に閲覧できるようになっている。

(改善を要する点)

- ・ 教員同士もっと意見を出し合って、もっと業務に積極的な参加が必要である。
- ・ 各種システムの導入はなされているが、有効に活用できておらず、業務の効率化につなげられていない部分がある。
- ・ 業務のマニュアル化が順序行われているが、古いデータの整理・作ったマニュアルのブラッシュアップは今後も行っていく必要がある。

### [3]教育活動

| 評価項目                                                          | 評価  |
|---------------------------------------------------------------|-----|
| ・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか                             | 4   |
| ・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 3.8 |
| ・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか                                     | 3.7 |
| ・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか          | 4   |
| ・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか           | 4   |
| ・ 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか     | 4   |
| ・ 授業評価の実施・評価体制はあるか                                            | 4   |
| ・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか                                 | 4   |
| ・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか                              | 4   |
| ・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか                        | 3.7 |
| ・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか                     | 3.7 |
| ・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか      | 3.7 |
| ・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか   | 3.7 |
| ・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか                                      | 3.8 |

(優れた点)

- ・日本能率教会による教職員の教育研修を定期的に行い、教育に関する知識と技術を高める場が設けられている。
- ・学校のMRIを活用し、高度医療について専門の先生から間近で学ぶことができる。
- ・動物高度医療センターなどの設備により、より実践的な実習ができるだけでなく、さいとう動物病院様での計画的な実習により、学校で学んだことを現場でどのようにいかすことができるのかを学ぶことができる。
- ・海外特別講師であるピクター・ロサード氏に来校いただきセミナーを開催。学生達が間近で世界のトッププロの技術を見ることができた。
- ・教職員研修では内容によって全体と個々のものを分けているため、個人の問題解決にも取り組みやすくなっている。
- ・教職員の教育力・資質向上のため日本能率協会によるコンサルティング及び定期的な研修を実施している。
- ・さいとう動物病院富岡総合医療センター・DOG&CAT Waltz・群馬県動物愛護センターとの連携でより実践的な実習授業を行っている。

(改善を要する点)

- ・看護コースの急激な生徒数の増加に対し、質の高い教育を提供するためには看護教員の適切な数と配置に改善の余地がある。
- ・教職員研修で行ったことを、研修後も一人一人が実践的にいき改善に繋がっているかの振り返りが必要である。
- ・海外特別講師によるセミナー・動物高度医療セミナーなどを開催しているが、教職員の技術向上としては活用しきれていない部分がある。

**[4]学修成果**

| 評価項目                                   | 評価  |
|----------------------------------------|-----|
| ・就職率の向上が図られているか                        | 3.8 |
| ・資格取得率の向上が図られているか                      | 3.6 |
| ・退学率の低減が図られているか                        | 3.8 |
| ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | 3.9 |

(優れた点)

- ・出欠管理システムをWeb上で共有しているため、学生の出欠状況や成績の状況を保護者ポータルから見ることができるため、家庭との連携ができるようになっている。
- ・退学率については、半期ごとに学校全体で共有し、対策を立て実践できるよう個々人が自覚をもって学生指導を心がけている。
- ・キャリアセンターができたことで、学生への指導やコミュニケーションをとりやすくなり、これまで以上に就職支援をする環境が整ってきている。
- ・就職担当・学修アドバイザーの協働により高い就職内定率を誇っている。
- ・Google ドライブを活用することで教職員が学生一人一人の状況を把握しあい、学生に対する声かけ・働きかけを行っている。また、出席状況を毎月確認し、保証人への通知・面談を実施することで退学率の低減を図っている。

(改善を要する点)

- ・成績不良者に対して、本人の勉強に対する積極性や学業の成果を改善する有効な手段がなかなか無い。
- ・学生との懇談、親への連絡など実践はされているが、必ずしも結果に直結していないため、対応の仕方を常に模索している。
- ・愛玩動物看護師の国家資格試験について、全員合格を達成することができなかった。

**[5] 学生支援**

| 評価項目                                     | 評価  |
|------------------------------------------|-----|
| ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか                  | 4   |
| ・学生相談に関する体制は整備されているか                     | 3.9 |
| ・学生に相談する経済的な支援体制は整備されているか                | 4   |
| ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか                      | 4   |
| ・課外活動に対する支援体制は整備されているか                   | 3.8 |
| ・学生の生活環境への支援は行われているか                     | 3.9 |
| ・保護者と適切に連携しているか                          | 3.8 |
| ・卒業生への支援体制はあるか                           | 4   |
| ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか               | 3.8 |
| ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | 3.9 |

(優れた点)

- ・国家試験不合格だった卒業生に対し、卒業後も勉強や受験のサポートを希望者に対して行っている。
- ・ZPK（全国ペット協会）の就職説明会への参加や学校内での企業説明会の開催により学生の就職サポートを行っている。
- ・ホームページに卒業生登録ページがあり、講習会や販売会等のお知らせが届くようになっている。
- ・学修アドバイザーを各コースに複数名配置し相談しやすい環境にある。
- ・専門実践教育訓練の教育訓練給付金の対象講座の認定を受けているため、社会人の学び直し・再入学に際して学費を軽減することができる。
- ・Web ポータルを通じて保証人に対しても適切な情報提供・連携ができています。
- ・昨今の物価高に対する学生の経済対策支援事業に申請し、対象校となっている。

(改善を要する点)

- ・学生の健康管理について、心理カウンセラーがいると良いが、なかなか適任がいないので、看護師免許を持つ教員が対応しているが、専門家ではない上に他の業務もあるため、対応に限界がある。
- ・2023年度はコロナの影響があったため、課外活動・地域活動が制限されている部分もあった。

**[6] 教育環境**

| 評価項目                                        | 評価 |
|---------------------------------------------|----|
| ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか          | 4  |
| ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | 4  |
| ・防災に対する体制は整備されているか                          | 4  |

(優れた点)

- ・動物高度医療センターをはじめとした学校内の施設だけでなく、ペットショップ実習施設ワルツやさいとう動物病院との連携により学生が充実した授業を受けられる環境設備の整備・確保を行っている。
- ・避難訓練を行い、動物を扱ううえでの避難方法を実践的に学んでいる。
- ・全国の動物専門学校で唯一 MRI 検査機器を導入しており、動物高度医療を実践的に学ぶ環境が整っている。

- ・MGL 学園附属ペットショップ実習施設 DOG&CAT Waltz にてトリミング・ドッグトレーニング・ペットショップ運営・動物飼育・繁殖等の実践的な実習授業を行っている。

- ・電子黒板を活用した双方向授業を実現している。

(改善を要する点)

- ・NEXTGIGA を想定し、今後はより一層の通信ネットワークの整備が必要となる。

### [7]学生の受け入れ募集

| 評価項目                         | 評価  |
|------------------------------|-----|
| ・学生募集活動は、適正に行われているか          | 3.9 |
| ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 4   |
| ・学納金は妥当なものとなっているか            | 4   |

(優れた点)

- ・愛玩動物看護師学科・ペットビジネス学科両学科において高い定員充足率を達成した。

- ・学校案内書・学校ホームページにてカリキュラム・授業計画書・資格合格率・就職内定率を周知・公開している。

- ・オープンキャンパスでは本校の充実した施設設備を活かした体験実習を多数開催し、県内隣県のみならず遠方からも数多くの入学対象者が参加した。

- ・オープンキャンパスでは MGL 学園附属高度動物医療センターを活用した体験実習を行っており、入学後の実習授業イメージがしやすいものとなっている。

- ・実地開催のオープンキャンパスだけでなく、Web オープンキャンパスの開催などにより遠方の保護者や入学希望者への情報発信ができています。

(改善を要する点)

- ・少数ではあるが、動物看護師国家試験の難易度に関して過小評価して看護コースへの入学を希望する学生が居るように見受けられる。

- ・一部の入学選考において、早めに定員となってしまったため予定していた期間の選考を行わずに締め切ることとなった。

### [8]財務

| 評価項目                      | 評価 |
|---------------------------|----|
| ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 4  |
| ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 4  |
| ・財務について会計監査が適正に行われているか    | 4  |
| ・財務情報公開の体制整備はできているか       | 4  |

(優れた点)

- ・人気校ということもあり学生募集も安定しているため、財務状況も盤石である。

- ・監事の監査報告書、独立監査人の監査報告書、経営の状況、財政状態を適正に表示したものをホームページで公開している。

- ・独立監査人の会計監査を受けることで、学校の財務状況を客観的に見ることができている。

- ・安心して進学できるようホームページで経営状態の情報公開をおこなっており、オープンキャンパスでも説明している。

### [9]法令等の遵守

| 評価項目                           | 評価 |
|--------------------------------|----|
| ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか | 4  |
| ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか    | 4  |

|                        |   |
|------------------------|---|
| ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | 4 |
| ・自己評価結果を公開しているか        | 4 |

(優れた点)

- ・本校は専修学校設置基準および関連諸法律等が定める要件に適合し、愛玩動物看護師養成校としての基準にも適合している。
- ・個人情報保護法に関する情報管理規定を設け、適切に管理している。
- ・教育課程編成委員会が職業実践専門課程の認定要件をクリアしていることは勿論、この制度を生かして実際にカリキュラムの編成に反映され、業界・企業が求める人材を育成できる体制がとられている。
- ・個人情報の管理は全教職員が徹底していて扉の施錠やパスワードの管理など常に危機感をもって取り組んでいる。
- ・自己評価は教職員により適切に行われ、改善点があった場合は改善に向け積極的に取り組み、結果については学園のホームページで公開されている。
- ・オンラインにて情報共有を行っているため、使用できる端末の管理・パスワードによる管理・情報の取り扱いに関して適切なルールを定めて運用している。

#### [10]社会貢献・地域貢献

| 評価項目                                         | 評価  |
|----------------------------------------------|-----|
| ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか             | 3.9 |
| ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか                      | 3.8 |
| ・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか | 3.6 |

(優れた点)

- ・専門実践教育訓練を開講し、対象者を受け入れている。
- ・地域の獣医師による鍼灸講座への学校飼育動物の貸し出しなど積極的に獣医療向上のための協力を行っている。
- ・最新のMRIを備えた動物高度医療センターでは、二次診療を受け入れて地域の動物医療に貢献している。
- ・地域の小・中学生の職場体験を毎年受け入れている。
- ・学内でピアサポーターとして学生スタッフの募集や教育を行い、学生同士の支援や学生自身の成長支援に取り組んでいる。
- ・地域の動物愛護センターでのボランティアトリミングやお世話を継続的に行い保護動物の現状を学生が理解し、周囲にも伝えていくことができている。
- ・動物高度医療センターにて、地域の動物病院に勤務する獣医師を対象とした専門医による獣医療セミナーを実施している。

以上

高崎動物専門学校

令和5年度 自己点検・評価委員会

委員長 中井亜沙子 (校長)

委員 山田早矢香 (教務主任)

委員 佐藤 朋未 (教務会)